

特定実験局として免許を受けて運用すべく開発した アニマル・マーカ― X191-TX Ver2.0



147MHz帯 10mW
送信時間:100msec 休止時間:1.5sec
F2D MSK変調 今回は疑似コード送信

電池消費期間 1.5年以上(計算上は2年)
(休止時間を3secに設定すれば、計算上4年に)
なるべく連続に近い送信動作が探索には有効
(クマなど動きの速いものへの利用では、休止時間が
長いのは危険)



脱落機構
本皮が朽ちることを利用したシンプル
なもの

黄色なマグネットは、電源をOFFにする
ためのもの



アンテナ引き出し部
物理的に強化しました

過去の稼働実績では一番と思われるATS社製M2950との比較

体積的にはほぼ同じ、首輪(ベルト)をクマを意識して70cmと長く設定、
この状態でM2950とほぼ同じ重量です(約150g)
電波の飛びも、M2950と同等以上です(SSBモード受信)